

○町屋幼稚園と第七峡田小学校の幼小接続を意識した保育や授業



3歳児 「ピザやさんごっこ」

教師の用意したピザ窯やごっこ遊びのコーナーなどで遊びや製作を楽しみ、色々な形に触れたり、教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったりした。

友達や先生と関わりながら、身近にあるものや秋の自然物を活用した遊びを行う中で、秋の生き物や自然に親しんだ。



4歳児 「秋の自然に親しむ」



4年生 理科 「電池のはたらき」

これまでの経験や、生活科のおもちゃ作りの活動を生かし、理科学的な見方につなげた。

単元の導入で幼児期からの砂場遊びの経験や、既習事項や生活経験を想起させた。ICT機器や実験器具を活用して問題解決を図った。



5年生 理科 「流れる水の働きと土地の変化」

○近隣の就学前施設との交流・連携活動

幼保小中交流会（4月）



荒川区教育委員会の取組である幼保小中交流会では、小学校の授業を公開したのちに、意見交換会を行った。このことにより、今後の小学校と就学前教育施設の交流の計画を立てたり、教職員同士の関わりをもつことができたりした。双方の子どもたちや職員にとって価値のある、継続した取組ができるよう、検討を重ねたい。

児童と幼児の交流

小学校の生活科や国語科で作成したおもちゃや作り方の説明書を近隣園への贈り物として寄贈したり、Zoomによる授業見学などの取組に挑戦したりしている。なお、今年度は感染症予防の観点から、幼児と児童が集団で直接交流をすることは避けた。

